第 12 回　千葉大学予防医学センター市民講座

「子どもの環境健康と環境化学物質の脳神経系への影響」

私たちの身の回りにある化学物質の中には、濃度によっては健康への悪影響を生じさせるものが数多くあります。中には、胎児期に母親が摂取することにより胎児の脳神経に悪影響を与える物質も報告されています。今回の市民講座では、環境化学物質の胎児の脳神経系への影響について長年研究してこられた、財団法人東京都医学総合研究所の木村 - 黒田純子先生のお話を伺います。また、千葉大学予防医学センターの戸髙恵美子准教授より環境省子供の健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の千葉県内における推進状況を報告します。

日　　時：平成 24 年 8 月 4 日 (土)　13:30 開場　14:00 開演

会　　場：千葉大学　西千葉キャンパス
社会文化科学系総合研究棟 2F マルチメディア会議室

参 加 費：無料

定　　員：50 名

申込方法：事前申し込み不要

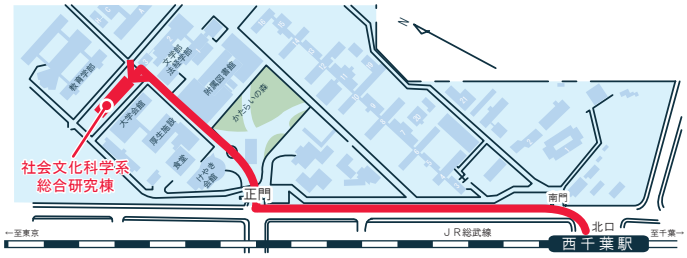
主　　催：千葉大学予防医学センター
共　　催：NPO 次世代環境健康学センター

プログラム	
13:30	開場
14:00	開会のあいさつ（千葉大学予防医学センター長 : 森 千里）
14:15	千葉県内におけるエコチル調査の状況について（戸髙 恵美子）
15:00	環境化学物質の脳神経系への影響（木村 - 黒田 純子）
16:00	質疑応答
16:30	閉会のあいさつ（森 千里）

≪講師紹介≫

木村 - 黒田 純子：
公益財団法人東京都医学総合研究所、脳発達・神経再生研究分野、
神経回路形成プロジェクト担当。長年、PCB など環境化学物質の脳神経への影響を研究。現在は新農薬ネオニコチノイドの問題に取り組む。

戸髙　恵美子：
千葉大学予防医学センター准教授。元環境新聞記者。
環境問題について、研究者と市民との間の架け橋となる人材育成の大切さを訴える。



〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町 1-33